

番号	7 - 6	申請者	RI検査主任 米丸 雄太
<p><b>【審査申請課題】</b></p> <p>DaTScanにおける自施設データベースを用いた被殻/尾状核比の基準値の検討</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b></p> <p>DaTScan検査は脳内のドパミン神経の変性や脱落を画像化することで、パーキンソン病やパーキンソン症候群の鑑別に有用な検査である。DaTScan検査の解析ソフトDaTView（日本メジフィジックス社製）のバージョンアップに伴い、被殻および尾状核のカウント比の算出が可能となった。これらの値は鑑別診断において、カットオフ値の設定が必要であるが、現状ではカットオフ値は存在しない。Nicastroらは健常者データベースではなく、神経変性がない患者の検査データから被殻や尾状核のカウント比の基準範囲を作成するアプローチを提案した。現状では、健常者のデータベースを構築することは難しく、本研究は当院において、神経変性がないと診断された患者のデータベースを用いて、被殻/尾状核カウント比の自施設のカットオフ値を作成し、海外のデータベース（ENC-DAT）におけるカットオフ値と比較することで、臨床への応用の可能性を検討する。</p>			
審査結果	承認（令和7年5月19日）		